

ふるさと 通信員だより

vol.218

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



春に彩っていたチューリップの後に、シソ科のサルビアの苗250本を植えました。

「道行く人や来場者が心癒されるように」と全体のバランスを考えながら手際良く植え込みました。燃えるような赤いサルビアに「コロナが収束しますように願いを込めて植えました」と話す佐藤栄子さん（86）は額に汗して作業していました。最後にたつぷりの水を与えて心も華やかな花植え活動となりました。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

心も華やかに
花植え活動



同時期に町は中学校にALT（英語指導助手）の配置を開始。初めて日本に来る外国人講師のホストファミリーとして25年間で11人のALTを受け入れました。

田中さんはそれらの経験をきっかけに39カ国・48回の海外旅行をしました。

現在は写真愛好家として自然に生息する生き物や風景の撮影に夢中です。道内各地の撮影地でお会い写真仲間との交流も行い、充実した毎日を過ごしています。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

人との交流を
大切に